

国会及び政府事故調報告書に対する政府の受け止め
(第1回有識者会議での阿部委員からの御質問事項)

平成 24 年 12 月
事 務 局

1. 国会事故調報告書(平成 24 年 7 月 5 日公表)

◇衆・予算委員会(平成 24 年 7 月 9 日)野田内閣総理大臣発言

「何よりも、安全神話に浸っていたということが大きな原因、もう一つは、やはり規制と利用が一体となった組織であったということ、こういう大きな問題点がありました。

そうしたことを踏まえて、今回、国会事故調から御提言も出ておりますけれども、その事故調の御提言を真摯に受けとめて、まず何からやれるか、迅速に対応しなければいけないものと、よく吟味して対応するものと、整理をしながらやっていかなければいけないというふうに考えております。」

2. 政府事故調報告書(平成 24 年 7 月 23 日公表)

◇報告書提出式(平成 24 年 7 月 23 日)での野田内閣総理大臣発言【首相官邸ホームページより抜粋】

「政府といたしましては、この最終報告を精読をさせていただきたいと思っております。

その上で、まもなく原子力規制委員会が発足をいたしますけれども、この規制委員会を中心に、二度とこのような事故が起こらないように、事故の再発防止に向けまして万全を期して取り組んでいきたいと考えております。

先程、畑村委員長から「真摯に受け止めてほしい。」という言葉がございました。正に、真摯に受け止めて、しっかりと対応していきたいと思っております。」